

電子情報科学専攻	研究分野	離散力学系	Lab. ID EC29
研究室Webサイト	<a href="http://www.asahi-net.or.jp/~in2h-fjisk/">http://www.asahi-net.or.jp/~in2h-fjisk/</a>		
研究課題の概要			
<p>擬似乱数が使用される分野は、情報通信、暗号、計算機科学、数理ファイナンス、地球科学(地球シミュレーション)、気象学、ゲノム・サイエンスと枚挙に暇がない。要求される性能は、次ビット予測可能性、高次均等分布性、相関特性と使用する目的に応じて種々挙げられるが、離散力学系研究室では、広い分野に要求される相関特性に注目し、擬似乱数が使用されるシステムが様々な目的関数に関して最適となるよう、離散力学系に基づいた擬似乱数の設計、記号力学系に基づく擬似乱数の性能評価、大量の擬似乱数の実現、および擬似乱数の特に情報通信システムへの応用を行っている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>研究テーマは相談して決める。擬似乱数、ランダム性に関するものであれば、テーマは基本的に自由である。数学による理論的アプローチと数値計算による実験的アプローチの両方で研究を遂行することが望ましいが、数学が得意でない場合には実験的アプローチを重視して、数値計算が苦手な場合には理論的アプローチを重視して研究を遂行する。マンツーマン指導である。毎年末に卒業論文・修士論文の中間発表を研究室で行う。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>下記研究室Webサイトは離散力学系研究室卒業生が作成してくれたものです。過去の卒業論文のテーマ、研究室での生活が卒業生の生の言葉で書かれています。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>数学が得意である必要はありません。予備知識も必要ありません。基礎から勉強すればよいのです。研究テーマとして与えられた問題に自分なりに取り組み、じっくり考えれば、自ずと道は開けます。ランダムな現象に興味を持つ人が楽しめる研究室です。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2015.3	最長周期列を用いたCDMA通信における最適符号の生成		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス			
氏名 <fujisaki *at* ec.t.kanazawa-u.ac.jp>			